

市政最前線

中学生の職場体験学習の

拡大にご協力を

予算化された新たな事業

事業の途中経過

特集のその後

戦前、戦後を通して、農村では子どもはある意味では貴重な労働力でした。しかし、

経済の高度成長時代を経て、農村の衰退、都市化の進行が進むと同時に、物が豊かになり、生活が便利になったことから、近年、子どもを取り巻く地域、家庭環境も大きく様変わりしています。

すなわち、子どもたちが、家で労働を体験することが少なくなり、また、家庭と職場の分離が進んだことから、親の働く姿を直接見る機会も少なくなっており、働くことの大切さや喜び、苦勞などを知る機会が減ってきています。そのことが、子どもたちの職業観や将来設計、ひいては生き

方に対する自分なりの方針を持っていない原因の一つになって

います。そこで、市では、学校教育の一環として、中学生が職場体験をすることにより自分の特性や今後の生き方について考えられるよう、地域の事業所の協力を得て職場体験学習を実施しています。この体験学習では、中学生が数人一班となっており、事業所の仕事を一日から五日かけて体験することになっていきます。ちなみに、平成十二年度は、市内の中学校二十一校のうち十四校で、約二千六百人（一年生から三年生）が、延べ約四百五十カ所の事業所で学習させていただきました。

このように、地域社会が一体となって、子どもたちを見守り、指導することによって、「地域の子どもは地域で守り育てる」という気運が高まれば、地域社会の人間関係がさらに深まり、子どもたちは共に生きる心や感謝の心を身に付けることができます。

市では、今後もこの体験学習を積極的に推進していきたいと考えています。事業所のみなさんにおかれましては、地元の学校から協力の依頼がありましたら、ぜひご協力をいただきますようお願いいたします。

問い合わせ

指導課（市役所9階） ☎54・8256

エンジンルームをのぞき込み、自動車の整備を体験する中学生



あなたの
こえ 声 工
広聴のコーナー

ご意見・ご提案をお寄せください

あて先は
〒510-8601 市役所市民生活課 広聴係
TEL54-8147 FAX59-0284
四日市市公式ホームページ
<http://www.city.yokkaichi.mie.jp>
「市政への提案箱」へ
〔住所・名前を明記してください〕

今回は、市政モニター永年通信員の方からお寄せいただいたご意見・ご質問の中から抜粋・要約したものを掲載させていただきます。

幼稚園などの安全対策はどのようになっているのですか

ご質問

大阪府池田市で起きた児童殺傷事件は、子どもを持つ親だけでなく、日本中の人の心を凍りつかせるほど痛ましい事件でした。事件後、ただちに文部科学省から各都道府県に対して小・中学校の安全対策について指示があったようですので、四日市市としても小・中学校に対して安全対策を講じたことと思います。

市から

子どもたちが楽しく安心して学べるはずの学校でこのような事件が起きたことは、誠に残念です。二度とあってはならないことであり、本市でも

幼稚園や保育園の教員・保育士はほとんどが女性であることから、どのような安全対策を講じているのか心配です。小・中学校に対する安全対策とともに、幼稚園や保育園についてはどのように考えているのかを教えてください。（市政モニター永年通信員・女性）

NPO企画マネージメント講座の 受講生を募集します

みなさんは、「NPO」という言葉の意味をご存じでしょうか。横文字なのでさっぱりわからない、漠然と理解しているが具体的にわかっていない、という人が多いのではないのでしょうか。NPOは、一般に(民間の)非営利組織と訳されています。なんだか、ますます難しくなりますが、一言で言うと、「公共的、公益的な活動を行う市民活動団体」といった意味合いです。

日本では、一九九五年の阪神・淡路大震災を契機に、NPOが公益的なサービスの担い手として徐々に認知されてきました。しかし、まだまだ歴史が浅いため、活動に取り組んでいる人以外には、なじみが薄いようです。

ところで、近年の社会状況、例えば、急速な少子高齢化、経済や雇用の不安、環境の悪化、市民ニーズの多様化など

に対して、行政が提供するサービスだけでは対応しきれなくなっています。そこで、NPOの活動が重要になってきているのです。

市では、より多くの市民の

●「NPO企画マネージメント講座」の日時とテーマなど

初心者コース		上級コース			
日時	10月16日～平成14年1月22日の火曜日(全6回) 午後2時30分～4時15分 (初回のみ午後6時30分～8時45分)	日時	10月30日～平成14年1月22日の火曜日(全6回) 午後6時30分～8時45分		
テーマ	「市民活動・NPOを理解する」	テーマ	「市民活動・NPOの経営戦略」		
講師	(初回)「ひと・まち・未来ワーク」代表 服部則仁さん (二回目以降)「地域づくり考房みなと」理事 井上淳之典さんほか	講師	「ひと・まち・未来ワーク」代表 服部則仁さん		
定員	70人	定員	15人		
中級コース		対象	原則として市内に在住または在勤しているか、活動の拠点のある人で、(1)初心者コース…NPOについての知識のない人 (2)中級コース…NPOについての基本的な知識のある人 (3)上級コース…NPOの運営にかかわる人		
日時	10月17日～平成14年1月23日の水曜日(全6回) 午後2時30分～4時45分			受講料	無料(ただし、資料代として1,000～2,000円が必要)
テーマ	「市民活動・NPOとまちづくり」			申し込み	10月1日までに、市民活動センター(☎50-0201)へ
講師	「地域づくり考房みなと」理事 海山裕之さん				
定員	15人				

全力を挙げてこのような事件の発生を防止しなければなりません。

小・中学校および幼稚園を所管する教育委員会では、事件当日に対策会議を開き、関係機関との連携のあり方や学校・幼稚園への指導などについて協議しました。その結果、最重要実施項目として、「子どもたちの安全確保のために具体的に活動すること」「地域の方や保護者等との話し合いを持つとともに、学校(園)の安全対策の方策を知らせること」「学校(園)の危機管理体制を構築(見直し)すること」の三点を学校(園)に対して依頼しました。

また、具体的な対策として、学校(園)において出入口の点検・補修や教職員による見回りを行うとともに、緊急時には火災報知機を使用することとしました。このほか、警察等へのパトロールの強化依頼や少年センターによる下校時のパトロール、子どもたちに対する「こどもをまもるいえ」の周知徹底などに一層努めるとともに、すこやか協力者会議」の活用など、地域や地区市民センター、外部関係機関との連携を密にしてい

こととしています。さらに、8月には「学校(園)の安全の手引き」を作成して各学校(園)に配布したほか、9月末までにインターホン(小学校)や監視カメラ(中学校)の設置等、ハード面の整備を行っていく予定です。

幼稚園については、こうした取り組みに加え、戸外での保育には複数職員で当たるようにするなど、すぐにできることから実施しています。また、周囲への危機伝達の方法をより強化するため、防犯ブザーを全職員に配布したところです。こうした取り組みは、保育園でも同じように行われています。

このように、市としても安全対策に万全を期していきますが、地域においても、通学路でのあいさつ運動、地域諸団体によるパトロールの強化など、今まで以上に「ご協力をいただきますようお願いいたします。」

指導課(市役所9階 ☎54・8256)

